



納骨室の完成図

納骨堂・ヨセフ館

主任司祭 ボクダン・ノヴァク神父

今年の南山教会の最も大きな行事とは、言うまでもなく、納骨堂の建設です。納骨堂建設委員会の皆さんの献身的な働きのおかげで、納骨堂の計画は順調に進行しています。納骨堂の設計を初め、近隣住民の同意とか、神言修道会の許可などのような手続きを無事に終えて、名古屋市から経営許可を与えられました。それから、入札によって、杉本組という建設会社に決めました。間もなく工事は始まります。ここまで協力してくださった皆さんに心から感謝いたします。

この建設が可能になったのは、納骨堂建設委員会の皆さんだけでなく、第1期募集に応じて、納骨堂の使用を申し込んでくださった189人の皆さんのおかげでもあります。これらの皆さんによって建設資金の大部分をまかなうことができましたが、まだ一部が不足しています。ですから、今までなかなか決められずに、迷っている方や将来申し込む予定のある方がいらっしやいましたら、是非、納骨堂の使用を申込むという形によって協力していただきたいと思ひます。特に、第2期募集において申し込む場合、40年間の利用期間は、利用権が与えられるときからではなく、御遺骨の収蔵日から始まるという特典があります。どうぞよろしく願ひいたします。

よい死の保護の聖人である聖ヨセフの名を借りて、「ヨセフ館」と名付けられた納骨堂の工事が始まりますと凡そ6カ月の間9台分の駐車場が使えなくなり、不便になりますが、ご理解とご協力をお願いします。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
 日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (at the Maria Kan Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

自己紹介

バルバロネルソン助祭



(バルバロネルソン助祭)

＊一九七七年、フィリピンのサマルという島のギーワン町で生まれました。
 ＊二〇〇〇年、大学を卒業してから電気店で働きました。
 ＊二〇〇二年三月二〇日、仕事を辞め、翌日、神言会へ正式に入会しました。
 ＊二〇〇四年、修練者になり、次の年、大神学校で勉強を開始しました。
 ＊二〇〇七年一月七日、日本へ来て、初めに「YWCA」で日本語を勉強して、南山大学で二年間、日本語の勉強を続けました。

＊二〇〇八年から今まで、幾つかのグループの信仰を深めるための勉強会を行なっています。
 ＊二〇〇九年、カトリック秋田教会で司牧経験を楽しみました。
 ＊二〇一〇年、「LOTP Program」を終了して、名古屋の神学コースに入って神父になるために、南山大学でキリスト教思想を勉強しました。
 ＊二〇一二年三月九日、終生誓願を宣立致しました。
 ＊二〇一三年三月一六日、助祭になったネルソンバルバロナでございます。
 今年度、助祭として、南山カトリック教会で「聖体祭儀」において奉仕する機会を与えて下さって、本当にありがとうございます。神様の僕として奉仕させてただく中で、当然、さまざまな試練や困難を体験することになるでしょう。そして、カトリック教会のあり方を学びながら、一人一人とよい関係を保つことができるように、皆さんの支えと祈りを頂きしたいと思います。神様の愛と豊かな恵みが私たちの上に注がれるように。

＊二〇一〇年、共に神様に願いました。また、私は自分が完全な者ではなく、持っている習慣、言葉あるいは文化等が皆様と異なっていることを良く知っており、お互いに学ぶためには、皆様の御協力と御理解がぜひ必要です。さらに、司祭職のための準備の期間を、出来るだけ大切に頑張りたいと思っております。しかし、さまざまな不足や失敗はどうしても避けられないでしょう。その時にはどうぞ遠慮なさらず、私に正しい方方を教えて下さるように宜しくお願いいたします。

「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の掟である。友のため、自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。私の命を捨てることを行なうならば、あなたは私の友である。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことを全てあなたがたに知らせたからである。」(ヨハネ十五章十二節)

2012年度決算報告書(2012.4.1～2013.3.31)

納骨堂建設のための特別会計

[収入の部]

単位:円

科目	決算	予算
新築献金収入	300,000	0
その他献金収入	24,450,000	0
雑収入	0	0
収入合計	24,750,000	0

[支出の部 続き]

単位:円

科目	決算	予算
通信費	1,575	0
支出合計	1,575	0
消費収支差額	24,748,425	0

2012年度決算報告書(2012.4.1～2013.3.31)

一般会計

〔収入の部〕

単位:円

科目	決算	予算
維持献金	19,418,616	22,000,000
ミサ献金	7,591,174	6,300,000
祭儀献金	4,112,000	5,500,000
墓地料収入	20,000	0
その他献金収入	4,494,652	3,500,000
献金小計	35,636,442	37,300,000
特別献金収入	1,283,409	2,000,000
受取利息	8,295	20,000
雑収入	23,040	80,000
収入合計	36,951,186	39,400,000

〔支出の部〕

科目	決算	予算
典礼書購入	484,296	450,000
聖具補充	4,610	50,000
花・ローソク・ホスチア	401,248	500,000
儀典費小計	890,154	1,000,000
復活祭	228,869	180,000
堅信式	60,865	60,000
敬老の日	127,703	140,000
クリスマス	22,490	40,000
成人式	19,600	20,000
諸行事	65,085	100,000
集會費小計	524,612	540,000
宣教司牧費	622,330	750,000
墓地費	10,000	20,000
黙想会費	30,000	30,000
教区分担金	2,504,000	2,500,000
宣司評分担金	250,200	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	954,787	1,200,000
寄付金小計	1,454,787	1,700,000
運営委員会	0	20,000
典礼委員会	25,627	80,000
広報委員会	101,910	450,000
典礼奉仕者の会	101,623	140,000
大樹の会	0	30,000
ヨセフ会	25,840	130,000
マリア会	66,650	150,000
青年会	31,220	50,000
中・高生会	167,347	400,000
中・高生父母の会	24,041	50,000
教会学校	567,675	600,000
教会学校保護者会	0	50,000
子ども部屋	40,690	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	5,000	30,000
南山手話の会	44,795	50,000
要約筆記者の会	20,396	20,000
英語ミサ	30,679	30,000
諸活動費小計	1,483,493	2,560,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,203,076	2,000,000

〔支出の部 続き〕

単位:円

科目	決算	予算
建物修理	3,465,000	3,500,000
オルガン修理	0	300,000
保守管理費	1,945,650	2,000,000
環境整備費	91,500	0
その他	0	0
修繕費小計	5,502,150	5,800,000
車両維持費	446,882	500,000
印刷費	1,004,823	1,000,000
事務用消耗品費	240,166	150,000
旅費交通費	375,480	0
通信費	2,212,218	1,500,000
消耗品費	643,181	500,000
水道光熱費	4,462,235	4,200,000
支払保険料	484,430	80,000
雑費	156,653	50,000
給料	5,460,000	7,400,000
雑給料	511,330	510,000
退職金	0	0
法定福利費	921,613	1,000,000
人件費小計	6,892,943	8,910,000
支出合計	34,753,813	37,400,000
消費収支差額	2,197,373	2,000,000

平成25年5月5日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に処理
されていることを認めます。

監事 公認会計士 坂浦正輝



ナタ、主イエスよ、来てくださらないことがあっても、イエ「と祈ったように、主イエスが早く来られること、ご自分の栄光と権力を全面的に表してくださることを願っているわけです。

7. 生者と死者を裁くために来られます。(つづき)

B・ノヴァク神父

愛から引き離すことができないし、私たちが負わされているあらゆる悪をイエスの力によって善のため、キリストから与えられた使命をより立派に果たすために利用することができるとい

た。同じように神の国の実現は、この世にある一つの可能性ではなく、この世を超越しておられる神が持つておられる可能性であって、神の国の実現は、この世界や人類の発展の自然な結果ではなく、神ご自身の超自然な働きの結果なのです。神の国の初穂である教会は、誕生して以来絶えず悪の攻撃を受けても、表面的に見ればこの地上のイエス・キリストの活動が失敗で終わったように、教会の活動も失敗で終わっても、キリストの約束通りに、教会は滅ぼされることがなく、神の国も必ず完成されるし、永遠に存続するとい

うことなのです。教会の時代、教会全体と各々キリスト者がイエスから与えられた使命を果たす時代は、神と他の人々との愛の絆を作る時代です。人間は、父と子と聖霊の名によって洗礼を受けることによってキリストの神秘的なから

イエス・キリストは、ご自分の栄光、また、権威と権能をありのまま、表しておられないことは、イエスが無条件に愛する可能性を与えますが、同時にイエスに逆らう可能性も生じるのです。そのために、この世界において真の支配者であるイエスを無視する人だけではなく、イエスに逆らう人、また、イエスに対して敵意を持つてイエスと戦う人もいます。それから、世界を支配しようとしている人、自分の力で世界を救おうとして、神無しの樂園をこの世において作ろうとしている人もいます。その結果としてキリストの神秘的なからだである教会と各々キリスト者たちが、無視されたり、排斥されたり、迫害されたりします。このような世界においてイエスに忠実に従うために、忘れてならないのは、ど

うな状態は、いつまでも続くのではなく、イエスが約束通り（ルカ 21・27）にご自分の栄光に包まれて、大いなる権威と権力を持つてこられるということなのです。そのとき、もはや誰もイエスに逆らうことができなくなり、誰もこの世の支配者とか、救い主の名を名乗ることができなくなるだけではなく、イエスは、神の国を完成させるのです。イエスの再臨は、この世界を悪から清める時であり、神の国の実現のときであるゆえに、再臨の約束は、イエスを信じている人にとって大きな希望をもたらしのです。ですから、私たちは、「神の国が来ますよ」と毎日祈るときに、初代の教会のキリスト者たちが「マラ

ナタ、主イエスよ、来てくださらないことがあっても、イエ「と祈ったように、主イエスが早く来られること、ご自分の栄光と権力を全面的に表してくださることを願っているわけです。

だの一部になって、その使命にあずかるようになります。けれども、洗礼はイエス・キリストが成し遂げてくださった救いにあずかるためにイエス・キリストご自身が与えてくださった確実な方法であっても、唯一な方法ではないということを忘れてはいけません。「神ご自身は秘跡に拘束されることはありません」（カトリック教会のカテキズム 1257）ので、私たちが知らなくても、神には、人々を救いに導くために、洗礼以外の手段もあるだろうと考えることができます。それから、洗礼を受ける結果であるイエスとの絆や神の命にあずかることは、決定的なことではないのです。与えられた使命を果たすことによつて、この絆を固め、神の子として成長することができるよう



うに、イエスに逆らうことによつて、イエスとの縁を切ることも、神から離れて、神の命にあずからなくなることも可能で
す。イエスは、たびたび目覚めるように（マタ 24・45―25・30）呼びかけたのは、イエスとの関係を深めるためですが、それだけではなく、この恵みを失わないためでもあったのです。人間は、実際にイエスとの愛の交わりに生きていくことを他の人のために善を行うことによつて表しています。けれども、私たちは、誰かがイエスの愛のために善を行っているということ
を必ずしも知っていると限らないし、すべての良い行いは、必ずしも真の愛の表れであると

いうこともありませぬ（一コリ 13・1・3）。そのために、今誰が本当にイエスに属しているか、誰が本当に神の国の市民であるかということを確認に知らないということなのです。けれども、今私たちの知らないこの事実は、イエスが再臨されるときに明らかにされますので、本
人をはじめ、すべての人々が知るようになるでしょう。この時にイエスに対する私たちの愛は完全なものでなくても、真の愛であれば、完成されます。けれども、表面的にイエスを愛しているように見えても、その愛は偽りのものであった人の場合、または、神の愛と命、また神ご
自身を選ぶ代わりに、他のものを選び、それに希望を置いて生きていた人々の場合は、彼らは
イエスと何の関係もないことが明らかにされると同時に、神との愛の交わりに入る可能性もなくなるのです（マタ 7・23、10・33・25・12）。それこそ、
イエス・キリストが再臨されたら、そのときに生きている人に対して、その前に死んだ人に対しても行われる裁きなのです。

洗礼を受けて

マリア・ローザ 久保 志保美

この度、受洗の喜びに出逢えた事を、とても感謝しております。

昨年八月に主人を送り、その時から私の、南山教会との係わりが始まりました。主人は聖霊ホスピス入院中に、リーマー神父様のご厚意で洗礼を受け、翌日帰天致しました。にわか信者です。私も四十五年程前に聖書を読み、当時は、日曜学校と称し教会にも通っていましたが、義務的でした。昨年九月から、毎週ミサに、ボクダン神父様の勉強会に、何かにすがりたく過ぎしてまいりました。

人とのつながりが、愛が、奉仕が今までより近くに感じられ、笑顔が増えたと思えます。教会と神父様代母様に出会って悲しみから救っていただきました。感謝を忘れず今後も、主人の分まで祈りを捧げたいと思っております。

リマのローザは八月二十四日、バルトロマイの日に亡くなったと記されていました。主人の霊名は、バルトロマイです。

マリア カタリナ丸山 美江子

私は、復活祭にて洗礼を受けました。教会のみな様に本当にうれしく思い、これからは、できるだけ自分の事や、他人の方々の心、絆、祈りとし、この五十年、どこかで、悩み苦しみ、悲しみも、イエス様が、私に与えて下さったのだと思えます。マリア様が、いろいろな点で、何度となく、心で聞いて頂くと、何もかも自然の心で聞いてくださっていると私は思いつつ洗礼式の時、ろうそくをもち大きなキャンドルと共に教会の外に出られて私たちは、小さなキャンドルをみなで心のともしびで、火を回し、外は夜桜で空を見上げましたら、一つだけ星が左の桜の夜空の上に、輝いており、ミサでの司祭様のお言葉は、毎回、心にのこります。ナザレ保育園を引越して仏教の高校でしたが、祈りは一緒です。ある理由で、洗礼は受けておらず、でも南山教会にも、昔、来ておりました。他界した双子の姉も、(M) グロリアと言いますが、その時の星は姉なのか？

イエス様かマリア様でしょうネ。

第2回運営委員会

2013年5月5日

はじめの祈り(ボグダン師)司祭団より

ボグダン師から、書籍「あかしする信仰」の紹介あり。

南山教会に100冊届く、1冊1,500円。残り30冊。

◎ 報告事項

4月14日ヨセフ会全体会について

・ヨセフ会神戸氏が議事録の概略を説明。

緊急動議・掃除が無ければもっと人数が集まった。

内規・修正後は運営委員会に持ち上げる。

会計事項・教会美化時のパーベキューはヨセフ会ではなく、司祭団により出して頂ける。

4月21日信徒協委員総会について(坂井氏より)

・14:00〜布池教会にて行われた。

・今年度、役員の変更あり。信徒協委員長は東山教会の滑川氏。

・滑川氏から名称変更の提案があった。(名古屋教区信徒協議会を名古屋教区信徒使徒職協議会への変更が了承された)

5月12日インターナショナル・ミサの準備具合について(典礼委員

会・ヨセフ会・マリア会など)

・典礼委員会

侍者と共同祈願、共に順調に準備中

・ヨセフ会
ミサの準備から献金等の補助を担当。

・マリア会
ミサ後パーティーのドリンクや、マリアホール設営も担当。

・マリア会
ミサ後パーティーの台所について立ち会う(2名)。(詳細は家田さんに確認)

納骨堂申し込み状況と建設に向けた進行状況について(納骨堂管理委員会・建設委員会)

5社にて見積もりをしたが、予算を大幅に越えていたため3社にて再見積もり。

結果、杉本組という地元の建設会社にてほぼ決定。見積もり価格はほぼ予算通り

先月末時点で、約200名の申込み。ほぼ予定通り。

先週から申し込みがほぼ他教会からとなつている。

他教会の方々が来られないであろうから、日曜日の申込み受けをやめ、水曜日と土曜日の13:30〜16:00の時間で7月末まで2次募集予定。

現状で、6,700万円程度の申込みがあった。

内訳は、南山教会の新規申込者が142名、その内八事霊園からの移動が30名、他教会からの申込み47名

6月上旬から工事開始。よつて、9台分の駐車場が使用不可。コインパーキングの利用を促す。

2012年度会計報告について(財務委員会)

財務委員会の伊藤氏から、会計報告があった。

一般会計は、収入約3,695万円、支出約3,475万円、収支差額は約219万円

修繕費用は増えているが、維持献金が増額するなど、信徒の方々のご協力により全体的には黒字となつた。

納骨堂建設のための特別会計は収入が約2,475万円。

売店会計は、収入約672万円、支出約644万円、収支差額は約27万円

その他
わだち祭りがサマリアハウスにて開催される。(5月26日11:00〜14:00)
南山教会担当は4万円分の金券。3万5,000円は販売済み。
マリア会はいなりずしを1,000個作る。
前の週に寄付物の仕分けを行う。

審議事項

5月19日教会美化について(ヨセフ会)

9:30〜ミサ終了後、11:30まで、12:00までには終了する。雨天順延予定。

班別で清掃エリアを決め、けがの無いように清掃。Eエリアは短大前の道路清掃に変更。

マリア館裏斜面の樹木に雑草が絡んでいるが、納骨堂建設が始まるので、手をつけない。

パーベキューは中庭で開催。パーベキュー開催の段取りを青年会に協力を仰ぐ。買い物はヨセフ会が担当。マリア会が大葉のおにぎりを作る。

納骨堂管理委員会新設のための運営委員会規約改定提案について(泉)

運営委員会規約の改廃を検討した。現行の規約に納骨堂関連の文言を追加。改廃について裁決を取り、採択された。6月の信徒全体集会で承諾が得られたら、7月度運営委員会にて最終承認されることになる。

6月30日信者全体集会開催について(泉)

例年の次第に、納骨堂関連の項目を追加。次第案は、拍手をもって採択された。次週からのお知らせにはさむ案内にて、信者の皆様か

らのご意見・ご要望を受け付けて

バザー委員会立ち上げにむけて

(泉・ヨセフ会)

ヨセフ会は、5月12日(日)の班長会議にて1・2班から委員を決める予定。

6月度運営委員会にて採択の予定。

その他

納骨堂管理委員会細則の確認

4月度運営委員会にて酒井氏から提案された案に対して異議なく承認された。

各会報告

ボーイスカウト

ボーイスカウトバザー開催と商品寄付のお願い

6月9日(日) 10時より 掘出し市、手芸品、新品コーナーに寄付を歓迎します。

※少しずつ集まっています、感謝します。さらに寄付をお願いします。

典礼委員会

4月14日 典礼委員会

5月12日 9:30のミサでマリア祭、典礼委員会、

14:00~インターナショナルミサにて侍者の奉仕をします。

5月19日 聖霊降臨 日英合同ミサをアンジェラス(天使ミサ)で。

マリア会

4月5日(金) マリア会例会に

て、ミサ後東日本大震災被害者の復興を願い、ロザリオの祈りを捧げ、例会後、今年も支援バザーを続けて行います。

2012年度のマリア会の東日本震災支援バザーの合計金額は401,955円でした。

2013年4月5日(金) では32,450円でした。

4月21日(日) 福音館バザーでいなり寿司1パック5個入りを210パック提供しました。

青年会

5月12日(日) インターナショナルミサ後、名古屋教区青年委員会主催の「ワールドユースデーinリオデジャネイロ準備会」に参加する。

5月19日(日) 教会美化後のバーベキュー準備をする。

5月26日(日) 15:00~膳棚教会で行われる「ネットワークミーティングin名古屋準備会」のスタッフとして参加する。

教会学校

4月12日から、ネルソン助祭指導で初聖体の勉強が始まった。

終わりの祈り (アントニー師)

次回は6月2日

5月の各会紹介最終回は5月19日聖ラザロ村友の会

6月掲示板担当番はレジオ・マリエ

カトリック教会のカテキズムより

1376 トリエント公会議は、カトリック信仰を要約し

てこう宣言しています。「わたしたちの救い主キリストは、パンの形態のもとにささげられたものがご自分の真のからだであると仰せられたので、神の教会が変わることなくつねに信じてきたことを、この聖なる公会議も繰り返して宣言します。すなわち、パンとぶどう酒の聖別によって、パンの全実体がわたしたちの主キリストの実体となり、ぶどう酒の全実体はその血の実体に変化します。聖なるカトリック教会は、この変化をまさしく適切に全実体変化と呼びます」。

1377 聖体におけるキリストの現存は聖別のときに始まり、その形態が存在する限り続きます。キリスト全体がそれぞれの形態のうちに、またその部分のうちに全体として現存されます。したがって、パンを裂いてもキリストが分割されることはありません。

1378 聖体礼拝。ミサの典礼で、わたしたちはキリストをあがめるしるしとしてひざまずいたり頭を深く下げたりすることなどによって、パンとぶどう酒の形態のもとに現存されるキリストへの信仰を表します。「カトリック教会はこれまで、聖体の秘跡に対する礼拝をミサの間だけではなくミサ外でも行ってきましたし、現在も行っています。聖別されたホスチアを注意深く保存し、おごそかに信者の崇敬の対象とし、民衆が喜ぶ中でそれを行列しながら運ぶのです」。

1379 聖体を保存するための聖櫃はまず、ミサに出席できなかった病人などにミサ後に聖体を持参できるように、そのときまでうやうやしく安置するためのものでした。しかし、聖体におけるキリストの現存に対する信仰が深められるにつれて、教会はパンの形態のもとに現存するキリストを沈黙のうちに礼拝する意義をますます理解するようになりました。したがって、聖櫃は教会堂の特別にふさわしい場所に置かれなければなりませんし、同時に、聖体にキリストが真実に現存されることが明白に表されるような形で作られる必要があります。

南山句会

平成二十五年四月三日



生きてこそ会へる喜び花の下

雪柳十字架望む散歩道

新法皇柔和なる御目風光る

椿東風土岐の川辺をいとほしむ

桃の花八十路となりし三姉妹

流るるも止まるもあり花筏

聖堂に満つる歓喜や復活祭

躑躅燃ゆ犬と日課の苑の径

花の昼子等に囲まる宴かな

牧子

瑞子

義子

美智子

とく子

紀子

洋子

眞喜子

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

マルガリーテ・マリー・アラック 友岡 慈子

※先月の復活祭に受洗されました

結婚

♡ お幸せに ♡

山野昭人 ♡ マリア山本未来 (南山教会)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

4月22日 セリア 平塚芳子 (100歳)

4月10日 マリア・マグダレナ 上原マリ子 (87歳)

転入

ようこそ

ペトロ・パウロ 渡辺保志 (表町教会)

ミェア 鎌田憲子 (麴町教会)

転出

いつまでもお元気で

ペトロ・クリソト 永田哲夫 (北浦和教会)

ペトロ・クリソト・ヌス 永田恭子 (北浦和教会)

マリア・フランシスカ 永田恵理子 (北浦和教会)

パウロ 永田有希夫 (北浦和教会)

ベロニカ・ジュリアニ 青山かおる (桑名教会)

クリストフォロス 大橋 哲 (岐阜教会)

幼いイエスのテレジア 生駒紀子 (麴町教会)

フランシスカ 二階真樹 (元寺小路教会)

フランシスコ 二階慶太 (元寺小路教会)

教会維持費

4月は3.368.131円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

2013年5月・6月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	聖母の月 12(日)主の昇天 19(日)聖霊降臨の主日 26(日)三位一体の主日	(決算書の承認) 12(日)マリア祭の聖母行列(9:15)(母の日) 19(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 19(日)教会美化・BBQ 決算書提出	5(日)運営委員会 10(金)マリア会例会(懇談会) 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ	5(日)世界広報の日・献金日 16(木)司祭協議会 26(日)わだち祭り(恵方町教会)
6月	聖心の月 2(日)キリストの聖体 7(金)イエスのみ心 23(日)聖ペトロ・パウロ使徒 24(月)洗者聖ヨハネの誕生	2(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ 13(木)アントニー師霊名の祝日 16(日)典礼奉仕者全体集会 30(日)信者全体集会	2(日)運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)典礼委員会 9(日)スカウトバザー 9(日)教会学校潮干狩り 15(土)10:30子ども部屋 16(日)ヨセフ会班長会 22(土)要約筆記付きミサ	20(木)司祭評議会 23(日)聖ペトロ聖座への献金